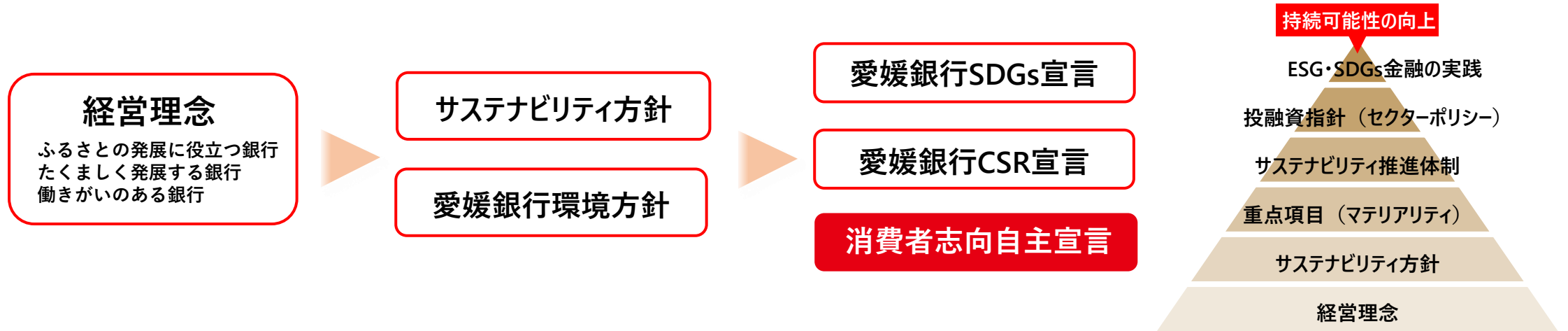


消費者志向経営

～2025年度フォローアップ活動～

愛媛銀行とは（会社概要、経営理念・方針、中期経営計画）



第17次中期経営計画 (2021～2023年度)

変革への挑戦 2nd stage

主要な戦略と項目

- (1) 新連携による金融プラス1戦略
- (2) コンサルティング戦略
- (3) デジタル戦略
- (4) **ESG・SDGs戦略**
- (5) 人財戦略
- (6) 生産性向上戦略
- (7) 市場戦略
- (8) 経営管理態勢強化

第18次中期経営計画 (2024～2026年度)

変革への挑戦 3rd stage

基本方針

- (1) 「金融プラス1」収益力の強化
- (2) 強固な経営基盤の確立
- (3) **サステナビリティ経営の実践**

目指す姿

お客さまに寄り添い 地域の発展に貢献する

当行プロフィール（2026年3月31日現在）

名称	株式会社 愛媛銀行 (The Ehime Bank, Ltd.)
所在地	愛媛県松山市勝山町2丁目1番地
創業	大正4（1915）年
資本金	213億67百万円
預金等	2兆7,843億円
貸出金	2兆0,207億円
店舗数	111店舗（本支店99、出張所12）
行員数	1,277名

愛媛銀行の消費者志向経営（概要）

理 念

- 愛媛銀行は、「ふるさとの発展に役立つ銀行」「たくましく発展する銀行」「働きがいのある銀行」という経営理念のもと、地域とのつながりを大切にし、地域の発展に尽くす銀行経営を行ってまいります。
- また、地域の共通価値の創造と社会的課題の解決に向け、「愛媛銀行SDGs宣言」のもと、「ふるさと」とともに持続可能な取組みの輪を拡げてまいります。

取組方針

1. 経営トップのコミットメント

2. コーポレート・ガバナンスの確保

3. 従業員の積極的活動

4. 部門間の有機的連携

5. お客さまへの情報提供の充実・双方向の情報交換

6. お客さま・社会の要望を踏まえた改善・開発

愛媛銀行の消費者志向経営（方針に基づく事例）

経営トップのコミットメント

- ✓ 金融サービスを通じて、公共的使命と社会的責任を果たす
- ✓ 地域・お客さま・株主にとってかけがえのない銀行を目指す

「ふるさと銀行」

地域金融機関の責務として、ふるさとの発展に貢献します。

「愛媛銀行SDGs宣言」

金融サービスやすべてのステークホルダーとの対話・連携を通じて、地域の共通価値創造、社会的課題の解決を目指します。

お客さまへの情報提供の充実・双方向の情報交換

- ✓ お客さまの声にお応えする体制の構築と積極的な収集
- ✓ 積極的な情報提供・わかりやすい情報提供

「あつたら、いいな」お問い合わせフォーム

- 身近な銀行を目指し、みなさまの「こんな〇〇あつたら、いいな」を集めています。
- 今後もお客さまからのご意見・ご要望等、お客さまの声を広く収集するとともに、業務改善に活かしてまいります。

「ひめぎんビジネスポータル」



- 事業を営むお客さまと愛媛銀行をWEBでつなぐポータルサイト
- お取引照会や融資のお申込みの他、お客さまのお役に立てる情報を発信

愛媛銀行の消費者志向経営（方針に基づく事例）

従業員の積極的活動

- ✓ お客様の課題やニーズに応えられるプロフェッショナル人材の育成
- ✓ 有効面談時間を増やし、事業性評価・ソリューション営業により取引先の企業価値を向上
- ✓ 質の高い組織づくりへの取組

専門性を高めるための「本気塾」の開催

ソリューション提案力や融資力の向上に向けた勉強会「本気塾」を開催しています。



▲ソリューション提案力や融資力の向上に向けた「本気塾」の様子

積極的な人的投資

個人の能力や適性を十分に発揮してもらうため、戦略的出向や中小企業大学校、海外派遣などを実施しています。



▲浅川造船との共同インターンシップでの工場見学の様子

中堅行員向け経営参画研修 「Next generations」

経営の意思決定を疑似体験し、次世代人材の育成とその意見の反映を通じて、参画意識を醸成するとともに、組織変革につなげます。



▲Next generationsでの協議の様子

地域課題解決に向けた取組事例

「21世紀金融行動原則」最優良取組事例にて選定委員長賞を受賞

21世紀金融行動原則 - 最優良取組事例

金融機関の脱炭素をはじめとする持続可能な取組事例に対し、優良事例として取組を選定し表彰する制度

-21世紀金融行動原則は環境省がパートナーを務める、持続可能な社会づくりに向けて協働する金融機関のイニシアチブ

取組の概要

【サプライとデマンドの両輪で進める地域脱炭素の加速】

→企業と個人の双方から脱炭素等の地域課題解決に向けた支援を推進

サプライ（供給）/企業

ソリューションネットワークで企業課題を一体支援

- SDGs支援パッケージ
- ゼロカーボンマネジメントスキーム
- ビジネスマッチングマトリクス検索システム

デマンド（需要）/個人

デジタルでペーパーレスと消費行動の変容促進

- HandyBank支店
- HandyBankプロジェクト
- ひめぎんアプリ



Topics

令和7年度21世紀金融行動原則 選定委員長賞を四国初の受賞

- 地域金融機関としての基盤を大切にしつつ、挑戦を続けていく取組が評価された。



▲2026年3月10日の表彰式
右：選定委員会委員長 末吉 竹二郎様
左：当行 西川頭取

地域課題解決に向けた取組事例

「えひめゼロカーボン・チャレンジ企業」に認定

✓ 当行の計画等が認められ、愛媛県が推進する「えひめゼロ・カーボンチャレンジ企業」に認定されました。

- ・第18次中計にてGHG排出量2013年度比50%削減を目標設定。
- ・前倒しで目標を達成したことから、2050年のカーボンニュートラルを次なる目標に設定しました。

グループ会社 ひめぎんリース(株) 環境省「ESGリース促進事業に係る優良取組認定事業者」に認定

✓ 四国内のリース事業者として初めて、「優良取組認定事業者」に認定されました。

- ・当社の取組である「ESGリースを通じた一気通貫型脱炭素支援体制の構築」が評価されたものであり、グループ一体となって地域の脱炭素化に貢献します。



地域課題解決に向けた取組事例

SDG s の推進に係る食品ロス削減及び特産品の P R に向けた連携協定

- ✓ 愛媛銀行と(株)クラダシが協働し、クラダシチャレンジを実施
- ✓ 民間企業と自治体、第一次産業従事者が連携し、地域課題の解決に向けた取り組みを行っています。

▶各自治体、および企業の課題に応じて連携の輪を拡大中

地域商社「フレンドシップえひめ」

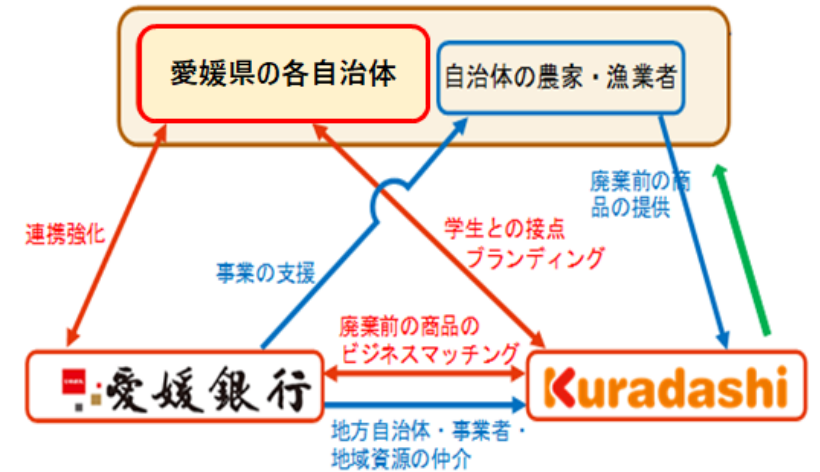
- ✓ 愛媛県産品の販路拡大等に取り組み、収益機会の拡大を図ることで愛媛県の経済を活性化させてまいります。



▲フレンドシップえひめ ECサイト「22_Ehime」

連携協定スキーム

▼各自治体、および企業の課題に応じて連携の輪を拡大中



Topics

フレンドシップえひめが松山市から運営を受託

松山市の若者プロジェクトチーム「マツワカ」

マツワカが、松山市に本社を置く「アイスクリームの卸問屋」南商事株式会社様と商品コンセプトの考案からパッケージ作成まで携わり、松山を感じられるアイスクリーム「みるぼんモナカ」を商品開発しました。



地域課題解決に向けた取組事例

「イノベーション起業塾」を開催

✓ 愛媛県内の企業支援・一次産業の活性化を目的に
起業塾を開催しています。

■えひめイノベーション起業塾

・参加する各塾生が事業計画を提案し、講師や他の塾生とともにブラッシュアップを行い、事業計画の課題を解決してまいります。



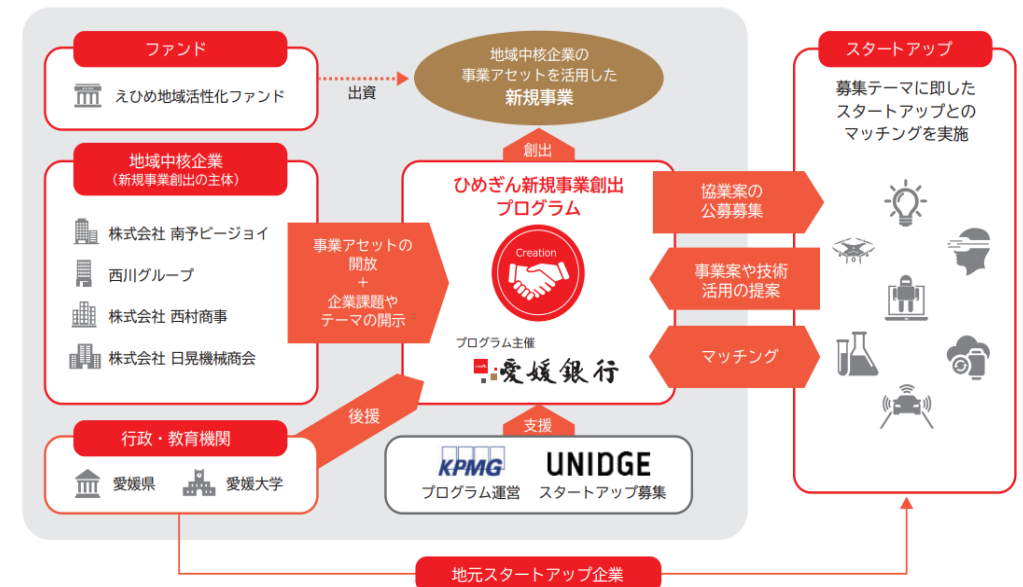
▲2025年10月に実施したえひめイノベーション起業塾の様子

「ひめぎん新規事業創出プログラム」を開催

✓ 愛媛県中核企業の新規事業創出の支援を通じて、
県内の経済の活力となることを目的としています。

- ・ 県内中核企業とスタートアップ企業のオープンイノベーションにより、新規事業の創出を目指す伴奏支援型のアクセラレータプログラム。
- ・ 全国のスタートアップとの連携により、協業案が生まれています。

『ひめぎん新規事業創出プログラム 2025』プログラムのスキーム



地域課題解決につながった取組事例

廃棄油の回収活動からエコオイルが開発された事例

✓ 協力の輪が広がった金融機関初の使用済み天ぷら油回収

2008年より愛媛県内の営業店および当行各施設に使用済み天ぷら油回収BOXを設置し、お客さまやお取引先さまからお預かりした油を燃料にリサイクルする取組みを継続。

▶ 回収した油は「生分解性チェーンソーオイル」に再生し、自治体へ寄贈等実施



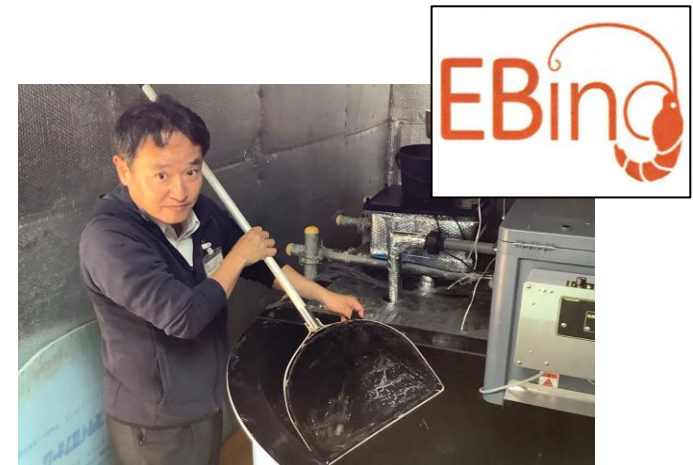
▲2026年2月に実施した寄贈式の様子

バナメイエビの陸上養殖が事業化された事例

✓ 地元企業・人のマッチングや、事業の具体化に向け伴走

地域衰退という地域課題の解決のため、菊間町の空き家を活用した独自の循環型システムを構築するにあたり、官民連携の地域再生プロジェクトを伴走支援。

▶ 収穫されたエビは市内の飲食店などで試験導入



▲空家や空工場を活用したエビの陸上養殖
(株式会社Ebing様より提供)